



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



キバナコスモス・耳成山：藤原宮跡（奈良県）

トピックス：箕面森林ふれあい推進センターの活動の紹介

ニュース：山口森林管理事務所、広島森林管理署、和歌山森林管理署

花草木：キバナコスモス

我が署のスタッフ：石川森林管理署

森林事務所等紹介：松原森林事務所（福井森林管理署）

国有林最前線：広島北部森林管理署

箕面森林ふれあい推進センターの活動の紹介

【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面森林ふれあい推進センターの活動フィールドである箕面^{みのお}国有林は、大阪府箕面市の北部、北摂^{ほくせつ}山地の南端に位置し、昭和42年(1967)に明治100年を記念して、「明治の森箕面国定公園」、「明治の森箕面自然休養林」に指定されています。大阪の都心部から約1時間の距離でありながら、豊かな生態系が生まれ、自然を親しむためのハイキング道・自然研究路や施設も整備されており、観光や野外活動などの場として、多くの方が利用しています。

こうした中、当センターでは、箕面国有林にある「エキスポ'90 みのお記念の森^{※1}」を、森林環境教育のフィールドとして活用しながら、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上を図るため、行政機関、教育機関、NPO法人などの地域関係者と連携し、「箕面体験学習の森」の整備を進める活動を行っていますので、その内容を紹介します。

※1：エキスポ'90 みのお記念の森

大阪市の鶴見緑地で開催された「花博」を記念して大阪府により整備されました。四季の花が楽しめる「花の谷」や野外学習の場として活用できる「芝生広場」、晴れた日には遠く六甲山まで見渡せる「展望塔」などの施設があります。6月頃にはモリアオガエルの産卵が見られるなど、豊かな自然が魅力となっています。

1. 「箕面体験学習の森」活用・整備事業

箕面国有林を含む北摂地域の森林は、「池田炭^{きくすみ}」^{※2}を生産するために「台場クヌギ」を育成するなど、昔から地域の森林として利用されてきました。また、箕面山は「日本三大昆虫生息地」高尾山(東京)・貴船山(京都)・箕面山(大阪)の一つとして数えられていますが、箕面国有林は、戦後の拡大造林に伴い、スギ・ヒノキの針葉樹が大半を占める森林となっています。

当センターでは、自然再生の一環として、箕面国有林にある「エキスポ'90 記念の森」を「散策、体験、学習」が手軽に楽しめる森林(箕面らしい里山)とするため、平成20年(2008)5月に「箕面体験学習の森」整備方針を策定し、行政機関、教育機関、NPO法人などの地域関係者と連携して、針葉樹から落葉広葉樹に転換する整備などの取組を進めています。

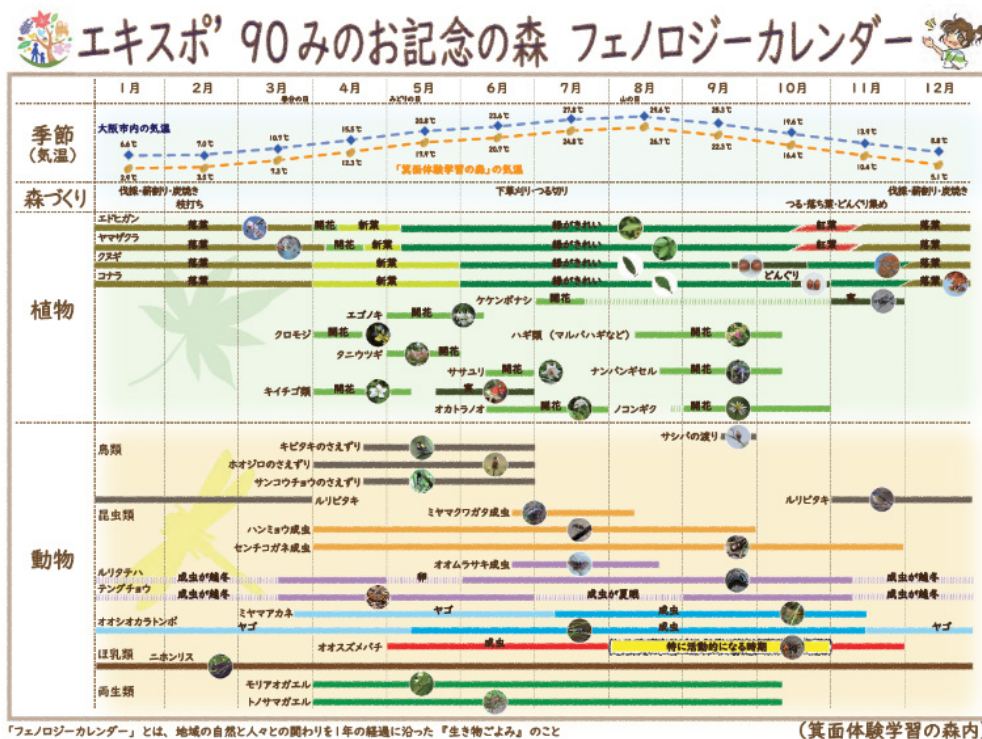
具体的には、オオクワガタなどの昆虫が集まるコナラやクヌギなどからなる落葉広葉樹林が生育する「クワガタの棲める森づくり」プロジェクトや、高木はコナラ・ホオノキ、亜高木はリョウブ・ウラジロノキ、低木類はヤマツツジなどを主体とした北摂地域らしい生物の多様性が豊かな明るい里山とする「長谷^{ながたに}の森林」の整備を進めるとともに、森林環境教育のフィールドとして活用するため、森の探検隊(森林環境教育プログラム)、来園者がより楽しんで樹木の知識が深められるコース(森の動物探検・百人一首・教科書に載っている植物)の設定を進めています。



※2：菊炭は、木口断面の中心から外側に向かって放射状の細かい割れ目が入り、切り口が菊の花のような模様になる木炭。クヌギ、コナラなど櫟・樫類の樹木を使用し、断面が美しい花模様となるよう条件を整えて製炭します。

2. フェノロジーカレンダー（生物季節暦）の作成

当センターでは、「箕面体験学習の森」の整備を通して、その現状と変化を記録するため、平成25年度(2013)から植生調査・昆虫相調査を継続的に実施しています。こうした過去の調査資料を基に、利用者が自然に楽しみ、理解できる手助けとなるよう、どの時期にどのような植物、動物を観察できるのか、自然に興味をもつ地域の人を対象とした「フェノロジーカレンダー」を作成しました。



「フェノロジーカレンダー」とは、地域の自然と人との関わりを1年の経過に沿った『生き物ごよみ』のこと (箕面体験学習の森内)

候補種の選定にあたっては、これまでの調査で確認されている植物、生物の中から、花の美しいもの、シンボリックなものを選定しました。

多くの来園者に関心をもってもらうために、今年度中に看板の設置及びパンフレットの作成を予定しており、協力団体を通じてパンフレットの配布ができるよう準備を進めています。

This is a seasonal guide titled "「Expo'90 Memorial Forest」の四季" (Four Seasons of Expo'90 Memorial Forest). It is divided into four quadrants: 春 (Spring), 夏 (Summer), 秋 (Autumn), and 冬 (Winter). Each quadrant contains photographs of local plants and animals, along with descriptive text. The Spring section highlights cherry blossoms and green leaves. The Summer section features butterflies and various insects. The Autumn section shows colorful foliage and birds. The Winter section depicts bare trees and evergreens. The text provides information on when to observe these species and what to look for. At the bottom right, it identifies the location as "林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター" (Forestry Agency, Kinki-Chugoku Forest Agency, Mino Forest Friendly Promotion Center).

佐波川流域の絆・森と水と人づくりフェアで出展しました。

【山口森林管理事務所】

「佐波川ってどんな川? 見て! 知って! 自然素材を活用したものづくりを体験しよう!」をテーマに、令和5年8月5日(土)、6日(日)「笑顔満開通りルルサス防府(防府市栄町)」で、防府市主催の「佐波川流域の絆・森と水と人づくりフェア」が開催されました。

山口森林管理事務所は協力団体としてブースを出展し、樹齢235年の「滑マツなめら(佐波川上流に位置する滑山国有林産)」の輪切り標本の展示、国有林の仕事についてのパネル展示、紙芝居動画「雨水なめらやまのぼうけん」等の上映及び「木工クラフトの作成」を行いました。



「樹齢235年の滑マツ」の輪切り標本

「木工クラフト」では、職員が手作りした木工クラフトを見本に、参加者が松ぼっくり、ヒノキの円盤などを利用して、部屋のプレートや木工オブジェ、キーホルダー等、思い思いの作品を楽しく作成していました。2歳から小学生までの親子連れの参加者が多く、2日間連



親子で参加の様子

続で参加してくれた子どももいて、大変好評でした。

本フェアは、今年初めての開催でしたが、2日間を通して約1500人の来場者があり、ものづくり体験&展示を通じて、佐波川の流域の森と自然環境を考える良い機会となりました。

ここ数年はコロナ禍で森林ふれあいイベント等の自粛が続いていましたが、久しぶりに木工クラフト教室を通じ、人との触れ合いが楽しめ、森林林業の普及活動への取組が実感できた2日間でした。

NTTドコモの森主催の「環境学習会」に親子が参加しました。

【広島森林管理署】

8月4日(金)呉市二川まちづくりセンターでNTTドコモの森主催による環境学習会が開催され、親子15組計36名が参加しました。

この環境学習会は、平成15年から広島森林管理署が協力して毎年開かれていましたが、新型コロナウイルス感染拡大により令和元年を最後に中止していたため、4年ぶりの開催となりました。

参加者は、親子と一緒に森のクイズに挑戦したり、紙芝居を観たり、木のブロックやおノキやタラヨウの葉に触れて触り



紙芝居の上映

心地や香りを楽しんでいました。

その後は、木工工作の時間となり、親子ともに熱心に



木の葉などの説明

取り組み、思い思いの力作を作っていました。

広島森林管理署では、一般の方に森や木に触れる体験を通して、森林の楽しさや大切さを知っていただけるよう、今後もこのような活動に取り組んでまいります。



木工の様子

「山の日記念」木工教室を開催しました。

【和歌山森林管理署】

8月2日(水)、和歌山森林管理署において、和歌山県西牟婁振興局林務課及びOF会(国有林退職者の会)の協力により「夏休み木工教室」を開催しました。

当日は真夏の暑い中、近隣小学校の5・6年生20名が参加しました。この木工教室は子どもたちに夏休みの思い出と宿題を兼ね、木に親しんでもらう目的で開催しており、4年ぶり37回目の開催となりました。

今年は「木製アコーディオンラック」作りに挑戦し、スタッフのサポートを受けながら墨入れをして、ノコギリで板を切り、キリで穴を開けて、金槌で釘を打って少しずつ組み立てていきました。



ノコギリで板を切る様子

午後からの森林教室では、いろいろな木目をさがすビンゴゲームを行い、木材にはさまざまな木目があることを学びました。

参加した子どもたちからは「ノコギリでまっすぐに切るのが難しかった」「早く家で使いたい」「ヤスリで木をツルツルに磨くのが楽しい」などの声が聞かれました。

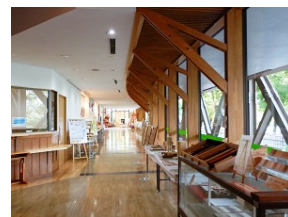
和歌山森林管理署では地域の子どもたちに木のことを知る機会を提供し、少しでも森林・林業に関心を持ってもらうために、今後もこのようなイベントを継続していきたいと思います。



集合写真

お知らせ

森林のギャラリー(局庁舎1階)



【技術普及課】

○9月7日(木)～10月2日(月)の展示は、神戸市立森林植物園、F P I、岡山県西粟倉村です。

ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【計画課】

○令和5年度「国有林の森林計画に関する地域懇談会」開催のお知らせ(参加者募集)

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/220829.html>



【技術普及課】

○令和5年度森林・林業交流研究発表会を開催します。参加者の応募方法等は下記の局ホームページをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/gijyutukaihatu/20170324.html>



【技術普及課】

○「水都おおさか森林(もり)の市2023」を令和5年10月22日(日)10時00分～15時30分、入場無料で開催します。詳しくは下記の局ホームページをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>



花草木

【キバナコスモス】

【キバナコスモス（黄花コスモス、学名：Cosmos sulphureus）は、キク科コスモス属の多年草または一年草です。コスモスの名を冠していますが、オオハルシャギク（コスモス）とは同属別種になり互いを交配する事は出来ません。現在では日本で広く園芸品種のひとつとして栽培されていますが、一部は逸出して野生化しています。

原産地はメキシコで、標高 1600m 以下の地域に自生しています。日本には大正時代の初めに輸入されたそうです。高さは約 30～100cm。概ね 60cm 程度に成長するが、オオハルシャギクと比べて葉が幅広く、切れ込みは深いです。また、夏場の暑さに強いため、オオハルシャギクよりも早い時期に花を咲かせる傾向にあります。

花時期は比較的長く、地域による差もあるものの早ければ 6 月から 11 月にかけて直径 3～5cm 程度の黄色、またはオレンジの花を咲かせます。（花期の終了は、それぞれの土地に霜が降りる時期となります）。

花は一重咲きと八重咲きがありますが、園芸品種として市場に出回っているもののほとんどは八重咲きです。

花言葉は「野生美」です。



キバナコスモスの花（藤原宮跡・奈良県）

我が署のスタッフ 石川森林管理署

植村 茜（うえむら あかね）（R5 年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

総務グループで経理を担当しています。現在は主に、支出にかかる事務を行っています。入庁してから約 5 か月になりますが、勉強の毎日です。複雑な用務もありますが、日々上司と相談しながら仕事を進めています。お金に関わる重要な業務でもありますので、気を引き締めて頑張っています。

【職場の雰囲気は？】

穏やかな方が多いので、分からないことや困ったことがあれば相談しやすい雰囲気だと思います。

【林野庁の魅力は？】

今は経理担当なのであまり現場に出ることはないのですが、何度か山に行ったことがあります。やはり、事務仕事だけではなく、現場に出て自然の中で働くことができる環境は林野庁の魅力の一つだと感じています。全国各地にある様々な国有林に足を運ぶことができる職場は、林野庁特有だと思います。



事務室で執務中

森林事務所紹介

松原森林事務所 (福井森林管理署)

森林官 熊崎 康夫 (くまざき やすお)

松原森林事務所が所在する福井県敦賀市は NHK 大河ドラマ「どうする家康」で取り上げられた「金ヶ崎の戦い」の舞台でもあり、古くから交通の要衝として知られています。今回は、2つの主要な国有林を紹介します。

まず、松原^{まつばら}国有林は、日本三大松原の一つの「気比^{けひ}の松原」として知られ、日本美しい森 お薦め国有林に選定さ



砂浜から望む気比の松原

れるとともに、国の名勝にも指定されています。約 32ha の面積にアカマツとクロマツを中心に約 16,000 本の樹木が生育し、平成 25 年に策定した「気比の松原 100 年構想」のもと市民団体、自治体や学校と協力し、保全活動を行っています。また、隣接



小学生による松葉かきの様子

して気比の松原海水浴場があり、多くの人々が海辺や林内に訪れます。そのため、安全対策として、危険木等のチェックやその処理作業も重要な業務の一つです。

次に、敦賀市南部にある黒河山^{くろこやま}国有林は、管内における木材生産の中心となる国有林です。令和 4 年度には伐採と造林の一貫作業システムにより、ヒノキ (コンテナ苗) を植栽しました。当地はシカの生息数が多く、多雪地でもあるため、耐雪性を考慮したシカ対策として金網柵を設置するとともに、「新しい林業」の取り組みとして雑草木の状況を見極めた上で初回の下刈を省略しています。また、業務の ICT 化に向けて、植栽地のドローン撮影を行い GIS による 3 次元画像データを活用した管理を進めています。



黒河山国有林の生産事業



黒河山国有林の植栽作業

令和 6 年 3 月 (2024) には北陸新幹線の敦賀駅が開業するため、敦賀市や国有林への訪問者が増えることが期待されます。今後とも地域からのさまざまな要望等に対応するため、本署とも緊密に連携しつつ、業務を推進していきます。

シリーズ『国有林 最前線！』

「職場体験プログラム」

広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、職場体験プログラムとして、毎年、県立広島大学の学生を受け入れ、国有林野事業の最前線を体験してもらっています。



治山工事の説明

これは県立広島大学との協定に基づくもので、平成29年(2017)から実施しています。今回は8月21日から25日までの1週間、管内の治山工事や低コスト造林などの取組を凝縮して学習してもらいました。この時期は暑さも厳しく、参加した学生からは大粒の汗を流しながら「暑くて大変な作業だったが貴重な体験をさせてもらった」との感想がありました。

研修の最後には、パワーポイントで作成した1週間の取りまとめのレポートを職員に発表して締めくくりました。



研修最後の発表の様子

是非、参加者には、この体験を機会に、関心を持ってもらい、森林・林業に携わることを進路の選択肢の一つとして考えてもらえればと考えています。今後も大学生に限らず、小学生の森林教室や高校生の派遣実習など、次代を担う人材育成への取組も進めていきます。